聴診器

「呼びかけ」　　加固　俊男

平衡が失われそうな暗闇に向かって、幾度も、幾度も名前を呼び続けた。それでも、全ての音はただ深い闇の中に吸収されていくだけで、なんの応答もないまま時だけが過ぎていった。覚悟はできていても虚無感は埋めきれないまま、本能につき動かされるのに任せて、絶望の淵から絞り出すように声を出し続けた。今日で６日目であった。奇跡など起きよう筈もないことは分かっていた。別れがどんなに悲しくつらいものか、度重なる肉親との死別を経た者でなくても理解できよう。別れの悲しみは多細胞生物の宿命に違いないと言い聞かせながら声を出し続けた。
と、そのとき、かすかに憔悴しきったような、それでいて充分確かな応答があった。
「ニャーオー」
ここで呆れ返ってしまった方には、ご勘弁願います。次号までお待ち下さい。

さて、我が家の愛猫「アビ」が行方不明になった次の日から大捜査網が張られたというわけである。電柱にポスター３０枚、近所の家の郵便受けに５０枚のポスターを配り、毎晩８時から１０時までローラー作戦を展開した。丁度そのころ、一宮高校の先生が、歩道にうずくまっている猫「アメリカンショートヘアー＝以下アメショーと略す」を保護し、飼い主を捜すポスターを張り出した。どちらのポスターも写真入りで、しかもアビはリスのような毛色、アメショーには縞模様があり、似てもにつかぬものである。ある時、それは６日目の夜であったが、そのアメショーのポスターを塀から剥がして我が家に届けてくれた善意の方が現れた。有り難くはあったが、全く別の猫なので早速ポスターを元の場所に返しに行った。その帰りの道すがら、冒頭の状況に至った次第である。アビは一宮高南西の樫の木の上で、あばらが指に埋まるほどやせ細り、身を震わせて主人の救助をひたすら待っていたのである。善意の勘違いにただ感謝するばかりである。

（加古内科クリニック院長）

◆◆一宮市在宅療養支援システム講演会◆◆

「在宅酸素療法について」

十一月二十六日、一宮市在宅療養支援システムの講演会が開催「在宅酸素療法について」元国立療養所東名古屋病院の三輪太郎先生が講演されました。

日本の在宅酸素療法の歴史はヨーロッパ諸国に比べて浅い。原因は酸素マスク＝死のイメージが強く、病の重さを強調するという誤解があった。

しかし、酸素は有効なものであり、在宅酸素の使用は延命につながる。肺気腫・呼吸不全など呼吸障害だけではなく心不全等にも効果があり、在宅での酸素療法は取り入れていくのがいい、と話されました。

会場から、在宅で酸素利用する場合の指導について発言があり、酸素の使い方を患者さんに正しく指導し、効果のあるものにしていくことが一番たいせつなことであり、患者へわからせる治療を行わなければならない、と繰り返し話されました。

当会でも在宅酸素を使用されておられる方があり、勉強の機会をいただきました。

感　謝

この度、Ｍさん、Ｄさん、Ｋさんから会へご寄付をいただきました。
大切に使わせていただきます。
ありがとうございました。

バザーにご協力ありがとうございました

～～バザー純収益は188,773円でした～～

11月12日（日）に事務所で行いました「まごころバザー」には多くの皆様からたくさんの善意をいただきました。

お陰様で、天気にも恵まれ、たくさんの収益を上げることが出来ました。

当日は、バザー用品、模擬店以外に、福祉用具のポータブルトイレやシャワーチェア、昇降機などの無料リサイクル用品を展示、皆様にお譲りしました。

また、難病の利用会員さんが書かれた絵などの作品とミニデイサービス参加の皆様の作品も合わせて展示、青空画廊には道行く人が足を止め、しばし見入っておられました。

バザー用品を出して下さった皆様、お買い上げ下さった皆様、当日お手伝いを下さった皆様本当にありがとうございました。収益は会の運営に大切に使わせていただきます。

収益内訳

お買い上げ金額	250,670円
バザー経費（模擬店材料代、看板等消耗品費等）	61,897円
差し引き純収益	188,773円

12月の予定

1日（金）	会報「まごころ」」発行	
3日（日）	定例会	
6日（水）	運営委員各部会	
7日（木）	ミニデイサービス	（場所・保育園）
	―寝ボランティア	宮田、田中
11日（月）	―寝ボランティア	鈴木、平子
13日（水）	運営委員各部会	
14日（木）	ミニデイサービス	（場所・事務所）
	―寝ボランティア	大橋、古田
16日（土）	ミニデイサービス	（場所・事務所）
18日（月）	―寝ボランティア	谷、小林曾
20日（水）	運営委員各部会	
21日（木）	ミニデイサービス	（場所・保育園）
	―寝ボランティア	駒木、鈴木
25日（月）	―寝ボランティア	岩田、小出
27日（水）	理事会	
28日（木）	ミニデイサービス	（場所・事務所）
	ミニデイ定例会	
	―寝ボランティア	創知、古田

中日新聞11月14日朝刊　中日歌壇から

当会の利用会員さんと賛助会員さんが中日歌壇に同時に掲載されましたので、ここにご紹介します。

（ひろ）

午過ぎて人と会ひたりそれぞれに
負へる時間を寄せ合ふごとく

（一宮市）築城　基裕

【評】会った人も、自分もそれぞれ「時間」を背負って生きる。そのとぼしい時間を寄せ合うようにして会い用件をすます。第３句以下に説得力があり。

メモ式に日記書き終え独り居の
誕生日の夜熱き茶を飲む

（一宮市）堀場　笑子

【評】何かさびしさと満足感とが交錯するしみじみとした歌。

１０月会員登録状況	
協力会員	43人
利用会員	65人
賛助会員	125人
計	233人

１０月有償活動	
在宅活動件数	20件
〃　活動人数	22人
〃　活動時間	249時間
ミニデイサービス利用者	49人
移送サービス利用件数	70件

1月の定例会は

1月7日（日）事務所　9時30分～12時30分
◆定　例　会　　9時30分～10時30分
◆ケア検討会　　10時30分　～12時30分
この日の午前のケアはお休みです
利用者さんよろしくお願い致します

１０月介護保険訪問活動	
訪問件数	37件
家　事	313　時間
複合型	218.5 時間
身　体	235　時間
合　計	766.5 時間